



PRESS RELEASE

6万羽のツバメたちが今年も平城宮跡へ！！ 平城宮跡 夏の風物詩『ツバメのねぐら入り』



過去のツバメねぐら入りの様子（写真提供：藪 重幸 氏）

平城宮跡では夏の風物詩「ツバメのねぐら入り」が7月中旬ごろから飛来数が増え、7月下旬には6万羽のツバメたちが平城宮跡に戻ってきます。ぜひ取材・記事掲載の程よろしくお願いたします。

◆「ツバメのねぐら入り」とは

ツバメは、春から夏にかけて民家の軒先などに巣をつくり子育てをしますが、子育てが終わるとヨシが茂る河川敷や湿地などの「ねぐら」に集まり、夜を過ごす習性があります。中でも、毎年7月下旬～8月上旬の日没後、ピーク時には約6万羽が集まる平城宮跡歴史公園内のねぐらは、日本最大級とされています。

◆関連イベント

平城宮跡で暮らす動物を知ろう！「ツバメのねぐら入り観察会」

■8月5日(土) 事前申込制※満席のため受付終了

□対象：子供(小学生以下)と保護者のペア 20組

□料金：200円/組(保険代)

■8月6日(日)・12日(土) 当日受付/定員なし

□料金：各日 200円(保険代)※野鳥の会会員、大学生以下は無料

□時間 18:15～19:30※少雨決行

□集合場所 復原事業情報館南側トイレ付近

□共催 5・12日：奈良ツバメねぐら研究部

6日：日本野鳥の会 奈良支部